

わて ぐらふ

緊急特集

新型コロナウイルス 感染症対策



●特集①

復興幸福希望予算

第2期

岩手県ふるさと振興総合戦略

●表紙の人

及源鑄造株式会社

及川久仁子さん(代表取締役社長)

橋本太郎さん(ディレクター)

岩手県知事より、
県民の皆様へ

新型コロナウイルス感染症の 感染拡大防止に向けて

県民の皆さまには、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取り組みに対して、多くのご協力をいただいていることに心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大は、社会・経済のあらゆる分野に深刻な影響を及ぼしています。

岩手県では、県民の命と健康を守ることを最優先にしつつ、将来にわたって安心した暮らしを確保するため、医療体制の拡充や、中小企業者への支援をはじめとした取り組みを進めています。オール岩手でこの危機を乗り越えていきましょう。

皆さまには、引き続き、密閉・密集・密接のいわゆる「3つの密」を避けるとともに、丁寧な手洗いや咳エチケットをはじめとする基本的な感染症対策を守っていただくよう、改めてお願いします。

岩手県知事 **遠増拓也**



私たちは、新型コロナウイルス感染症とどのように向き合っていけばよいのでしょうか？

岩手医科大学の櫻井滋教授にお話を伺いました。

「感染予防の方法は？」

基本は、「在宅」と「手洗い」。不要不急の外出を避け、せっけんを手を洗いましょ。もちろん、アルコール消毒も有効ですし、マスクをすることで感染しづらくもなりません。しかし、感染症の予防は「足し算」ではなく「引き算」。あれこれやるよりも、まずは基本を徹底しましょう。

感染防止のため、岩手医科大学では、「集まらない」「近づかない」「飛沫(つば)を飛ばさない」「(ものを)共有しない」「互いに触れない」の5つからなる

基本を守る**最大の**予**防策**

シンプルに「在宅」「手洗い」を徹底しましょう！

●お話を伺った人
櫻井 滋 教授

プロフィール
岩手県気仙郡住田町出身。
金沢医科大学医学部卒。
胸部外科・麻酔科臨床研修医修了。呼吸器内科専門医、岩手医科大学医学部教授、感染制御部部長・ICD



「べからず5か条」を掲げています。ウイルスは、場所やものを共有する、自分の顔に触ることで人から人にうつります。それを防ぐには、「在宅」と「手洗い」が大切です。



「家での過ごし方は？」

家族同士でもできるだけ離れて過ごしましょう。気分転換に外を散歩することは問題ありません。両腕の届かない範囲を目安に、他の人と距離をとります。

「風邪やインフルエンザとの見分け方は？」

新型コロナウイルス感染症の場合、発熱などの症状は風邪と同じですが、人によっては長引いて肺炎になることがあります。

インフルエンザは、39度以上の高熱が2日程度続いてピークを迎えることが多いですが、新型コロナウイルス感染症では、微熱が1週間以上続くことが

「家族が発熱した場合の対応は？」

「部屋や食事を分ける」「お風呂の順番を最後にする」「トイレなどを使った後はアルコール消毒する」などです。発熱がない家族の方も、おおむね2週間は学校や職場になるべく行かずに、症状が出ないか経過を観察しましょう。

「最後に、メッセージをお願いします。」

「在宅」「手洗い」の基本をしっかり守りましょう。また、岩手の医療は、他県の医師や物資のおかげで成り立っています。他県から入ってきた方に、むやみに偏見を持つことはやめましょう。

新型コロナウイルス感染症かも…?と思ったら

以下の症状がある場合

- 発熱
- 風邪のような症状
- 強いだるさ・息苦しさ
- 味覚・嗅覚障害がある

まずは、電話で相談を！

岩手県庁 医療政策室

帰国者・接触者相談センター

☎019-651-3175 24時間対応 土日祝も実施

FAX.019-626-0837

※県内の各保健所でも対応しています。

厚生労働省

新型コロナコールセンター

☎0120-565653

午前9時～午後9時/土日祝含む

※窓口で電話がつかない場合、**かかりつけ医**に電話で相談しましょう。

新型コロナウイルス感染症関連情報

岩手県における新型コロナウイルスに関する最新情報は右のQRコードまたは以下のURLからご覧ください。

岩手県 コロナウイルス

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

新型コロナウイルス感染症により経済的にお困りの方へ

県民の皆さまへのお知らせ ▶ 県民の生活を守るための**経済的支援**を行っています

納税が困難な方に対して、県税の「徴収猶予制度」があります。 (詳しくはP13をご覧ください)	県庁税務課 ☎019-629-5208
休業などに伴う収入減少により、経済的に困窮し、住居を失う恐れが生じている方などに対して、家賃相当分の住居確保給付金を支給しています。	県庁地域福祉課 ☎019-629-5425
市町村が、住民基本台帳に記録されている方を対象に、一人につき10万円の特別定額給付金を世帯主に支給しています。	お問い合わせは各市町村担当課へ (県庁市町村課 ☎019-629-5233)
高等学校に通う生徒の保護者の家計が急変した世帯に対して、授業料の減免の支援を行っています。	公立 県教育委員会事務局教育企画室 ☎019-629-6112
高等学校に通う生徒の保護者の家計が急変した世帯に対して、授業料以外の教育費負担を軽減するための給付金を支給しています。	私立 お問い合わせは各学校へ (県庁学事振興課 ☎019-629-5042)
(公財)岩手育英奨学会が、世帯収入が大きく減少し、緊急に奨学金が必要になった高校生などに対して、奨学金を貸与しています。	公立 県教育委員会事務局教育企画室 ☎019-629-6109
	私立 お問い合わせは各学校へ (県庁学事振興課 ☎019-629-5042)
	県教育委員会事務局教育企画室 ☎019-629-6109

事業者の皆さまへのお知らせ ▶ 資金繰りに万全を期すため**金融支援**などを行っています

売上高などが減少している中小企業者(個人事業主を含む)を対象に、3年間無利子で、保証料を全額補給し、経営の安定のために必要な資金の融資を実施しています。	県庁経営支援課 ☎019-629-5542 ☎019-629-5544
経営に影響が生じている中小企業者(個人事業主を含む)に対し、県と市町村が連携して家賃などを補助しています。	お問い合わせは各市町村担当課へ (県庁経営支援課 ☎019-629-5544 ☎019-629-5547)
県からの休業の協力要請に応じた中小企業者(個人事業主を含む)に対し、協力金を支給しています。 ※休業要請に関することは、県庁保健福祉企画室(019-654-8073)までお問い合わせください。	県庁経営支援課 ☎019-629-5544 ☎019-629-5547
経営に影響が生じている農業者・漁業者に対し、負債の借換えのための利子補給を実施しています。	県庁団体指導課 ☎019-629-5699
県内の肉用牛農家が県内の和牛子牛市場から肥育素牛を導入するために必要な経費の一部を支援しています。	県庁畜産課 ☎019-629-5721
国では、売り上げが前年同月比で50%以上減少している中小企業者、フリーランスを含む個人事業者、その他各種法人などを対象に、事業全般に広く使える持続化給付金を支給しています。	お問い合わせは持続化給付金事業コールセンターへ ☎0120-115-570 (県庁経営支援課 ☎019-629-5544)
宿泊事業者が行う前売り宿泊券の発行に要する経費を補助しています。	県庁観光・プロモーション室 ☎019-629-5574

雇用の維持に向けた支援を行っています

国が、事業主を支援するため、雇用調整助成金の助成率の引き上げなどの特例措置を実施しています。	お問い合わせは岩手労働局職業対策課分室 助成金相談コーナーへ ☎019-606-3285
事業活動が縮小した中小企業を支援するため、県と市町村が連携して雇用調整助成金の上乘せ補助を行っています。	お問い合わせは各市町村担当課へ (県庁定住推進・雇用労働室 ☎019-629-5591)

岩手県民の皆さまへ



【フェア期間】2020年6月30日(火)まで [応募締切] 2020年7月3日(金) ※当日消印有効

抽選で総勢100名様に当たる!

50名様に ①いわて牛 サーロインステーキ 180g×2枚

50名様に ②いわて牛 ローストビーフソース付

詳しい情報はこちらから

普及推進協議会





表紙の人

支え合う関係・ベストパートナー

心が「愉しむ」鉄器のある暮らしを

●及源鑄造株式会社
及川久仁子さん
(代表取締役社長) × 橋本太郎さん
(ディレクター)

「お互いに支え合いながら幸福を追求していくことができる地域社会」の実現を目指して邁進する人々の姿を紹介します。

奥州市水沢にある及源鑄造の直営店「オイゲンファクトリーショップ」。おしゃれな雑貨店のようなこの店では、海外でも評価が高い、現代的な南部鉄器を揃えています。ショップの設計やホームページを担当しているのは、ディレクターの橋本太郎さん。横浜市出身の橋本さんは、28歳の時、及源鑄造に入社しました。

「新しいことをしたいと思っていました。この会社なら何か面白いことができそうな気がしたので」と橋本さん。横浜出身で美術



(左)及川久仁子さん

及源鑄造株式会社・代表取締役社長。五代目。店では岩手・東北の作家による商品やフードなどを紹介する「岩手リレーションシップ」も始動。

(右)橋本太郎さん

横浜市出身。美術大学を卒業後、岩手に移住。アルバイトをしながら絵を書いていたが、一念発起し、2012年に及源鑄造株式会社入社。ディレクター。

及源鑄造株式会社
OIGEN Factory Shop

奥州市水沢羽田町字堀ノ内45
0197-24-2411
https://oigen.jp

大学卒の履歴書を見た時、社長の及川久仁子さんは「その時に募集していたのは、職人だったのですが、彼は職人タイプではなく、新しいことを作って動かしていくタイプだろう」と、ピンときたと話します。

新しいことをしたい橋本さんと、新しい風を取り入れたい及川さんの思いが結びつき、会社のロゴやホームページを刷新。現代のライフスタイルに合う南部鉄器のブランドとして、新たなファンを魅了するようになりました。

二人の会話はテンポが良く、まるで同期入社のように。



「私たちの鉄器はより暮らしを愉しむアイテム。『楽しむ』ではなく『心が愉しむ』。それが鉄器のある暮らし」と、二人とも愉しみながら、鉄器の魅力を今に伝えています。

政策推進「10の政策分野」の施策

健康・余暇

- 脳卒中などの生活習慣病対策
- 保健医療提供体制の整備や地域包括ケアシステムの構築
- 文化芸術に触れる機会の提供
- スポーツを楽しめる環境整備

教育

- 児童生徒の確かな学力の向上、豊かな人間性・社会性・健やかな体の育成
- 地域を支える人材や、地域の国際化に貢献する人材の育成

安全

- 地域防災力の強化に向けた自主防災組織の組織化支援を含めた各種取り組みの推進
- 登下校時の子どもの安全確保や特殊詐欺被害予防
- 地域に根ざした食育の意識醸成

歴史・文化

- 御所野遺跡の世界遺産への新規登録に向けた取り組みの推進
- 平泉の文化遺産を総合的に案内するガイダンス施設の整備
- 民俗芸能の保存・継承や後継者の育成

社会基盤

- 第5世代移动通信システム「5G」の整備促進
- AIやICTなど科学・情報技術の利活用に向けた取り組みの推進
- 自然災害に備えた洪水・土砂災害対策施設の整備

家族・子育て

- 結婚支援の機能強化
- 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備
- ひとり親世帯に対応する総合相談支援機能の充実

居住環境・コミュニティ

- 持続可能な地域公共交通ネットワークの構築
- 地域コミュニティの活性化に向けた取り組みの推進
- 岩手への移住・定住の促進
- 多文化共生の地域づくり

仕事・収入

- 地域経済を支える中小企業の振興
- ものづくり産業の一層の集積
- 国際定期便の持続・安定的な運航や観光産業の総合産業化
- 収益力の高い産地づくり、農林水産物の付加価値向上に向けた取り組みの推進

自然環境

- 森や川、海などの多様で優れた環境を守り、次世代に引き継ぐ取り組みの推進
- 循環型地域社会の形成に向けた取り組みの推進
- 再生可能エネルギーの導入促進

参画

- 女性や若者、高齢者、障がい者の活躍支援
- 市民活動や県民運動を促進するためのNPOなどの運営基盤強化
- 多様な主体の参画・連携・協力の推進

新しい時代を切り拓くプロジェクトの主な取り組み

ILCプロジェクト

国際リニアコライダー（ILC）の実現に向け、国民的な理解増進・普及啓発活動や道路・港湾などの利活用調査、外国人などの受入れ環境整備、未来のILCを担う人材の育成、加速器関連産業の振興などに取り組みます。



3つのゾーンプロジェクト



北上川パレープロジェクト

働きやすく、暮らしやすい先行モデルとなるゾーンの創造を目指し、県内中小企業の生産性向上や人材確保の支援、先端技術などを活用した地域課題の解決などに取り組むとともに、北上川パレーの魅力情報を発信します。



三陸防災復興ゾーンプロジェクト

三陸鉄道や復興道路など、交通ネットワークを活用した地域産業の振興を図ります。また、東日本大震災津波伝承館などを活用し、復興に力強く取り組む地域の姿や三陸地域の多様な魅力を国内外に発信することで、交流の活発化を図ります。



北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト

地域産業への先端技術導入による生産性の向上や、「北海道・北東北の縄文遺跡群」のPR活動、再生可能エネルギーを活用した地域活性化を進めます。また、産業人材を育成する拠点の強化などに取り組みます。

今年度はどんな事をするの？

「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現へ！

私たちの税金はどう活用されるの？

復興幸福希望予算



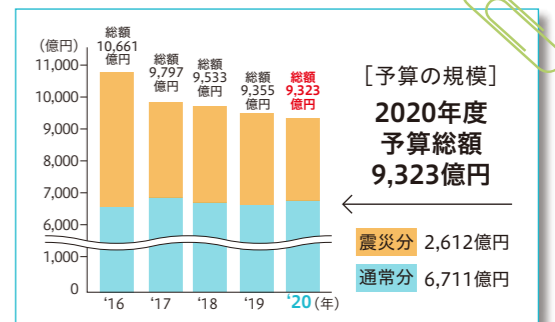
「復興幸福希望予算」って、どんな予算？

令和2年度の当初予算は、東日本大震災津波からの復興を力強く進めるとともに、県民の幸福度の向上を図る「いわて県民計画（2019～2028）」を軌道に乗せ、県民みんなが希望を持てる予算としました。

●予算のポイントは何？

ポイントは次のとおりです。

- ① 東日本大震災津波からの復興と平成28年台風第10号災害、令和元年台風第19号災害からの復旧・復興に最優先で取り組みます。
- ② 「いわて県民計画（2019～2028）」のもと、県民の幸福度向上を図る10の政策分野に基づく施策を着実に推進します。
- ③ 「新しい時代を切り拓くプロジェクト」として、ILCの実現や、「北上川パレー・三陸・北いわて」の3つのゾーンプロジェクトに関する事業などを展開します。
- ④ Society 5.0の実現に向け、5Gをはじめとした情報通信技術の活用による地域課題解決のための事業を実施します。



いわて県民計画(2019～2028)に基づく令和2年度の主な施策

「いわて県民計画(2019～2028)」の2年目となる令和2年度は、復興に最優先で取り組みながら、計画に掲げた将来像の実現に向けて、さまざまな事業を進めていきます。

復興推進「より良い復興～4本の柱～」の施策

- I 安全の確保**
防潮堤などの津波防災施設、水門・陸こうの自動閉鎖システムなどの整備
災害に強い交通ネットワークの構築
- II 暮らしの再建**
こころのケア活動や生活相談の実施
生活再建やコミュニティ形成の支援
- III なりわいの再生**
水産資源の回復に向けた支援、漁業者などの人材の確保・育成
県産農林水産物の認知度向上に向けた取り組みの推進
- IV 未来のための伝承・発信**
復興の状況や復興支援に対する感謝の気持ちを伝える取り組みの推進

岩手で育てたい!

岩手で暮らしたい!

岩手で働きたい!

岩手とつながりたい!

ふるさと振興を進める4本の柱

県では、人口減少に歯止めをかけていくため「ふるさと振興」を進めていきます。これまでの3本の柱に加え、「岩手とつながる」を4本目の柱に加えて、生活の満足度アップを目指します。

ここがポイント!

1 岩手で働く

やりがいと、生活を支える所得が得られる仕事を創出し、岩手への新たな人の流れの創出を目指します。

戦略の展開

- 商工業振興戦略
- 観光産業振興戦略
- 農林水産業振興戦略
- ふるさと移住・定住促進戦略

施策推進目標

若者の仕事や移住に関する願いに応え、県外への転出超過を解消する社会減ゼロとともに、ものづくり産業や農林水産業などの振興による県民所得水準の向上を目指します。

数値目標

- 人口の社会増減：△4,370人(R1)⇒0人(R6)
- 国民所得に対する県民所得水準の乖離縮小：一人あたり／86.9(H29)⇒90.0以上(R4※)

※指標の元となる県民経済計算年報は、R6年版でR4年の数値です。

2 岩手で育てる

社会全体で結婚、妊娠・出産、子育てを支援し、安心して子どもを産み育てられる社会を目指します。

戦略の展開

- 若者の就労、出会い・結婚、妊娠・出産支援戦略
- 子育て支援戦略

施策推進目標

結婚や出産は個人の決定に基づくものであることを基本としつつ、若い世代の就労、出会い・結婚、妊娠・出産、子育ての願いに応え、出生率の向上を目指します。

数値目標

- 合計特殊出生率：1.41(H30)⇒1.58以上(R6)

3 岩手で暮らす

医療・福祉や文化、教育など豊かなふるさとを支える基盤の強化を進め、地域の魅力向上を目指します。

戦略の展開

- 魅力あるふるさとづくり戦略
- 文化スポーツ振興戦略
- 若者・女性活躍支援戦略
- 保健・医療・福祉充実戦略
- ふるさととの未来を担う人づくり戦略

施策推進目標

岩手に住みたい、働きたい、帰りたいという人々の願いに応えられる豊かなふるさと岩手をつくりあげます。

数値目標

- 生活満足度が高い人の割合の上昇：35.0%(R1)⇒35.0%を上回る(R6)
- 生活満足度が低い人の割合の低下：32.0%(R1)⇒32.0%を下回る(R6)

4 岩手とつながる

関係人口や交流人口の拡大を図り、岩手と多様な形でつながることのできる社会を目指します。

戦略の展開

- 関係人口創出・拡大戦略
- いわてまるごと交流促進戦略

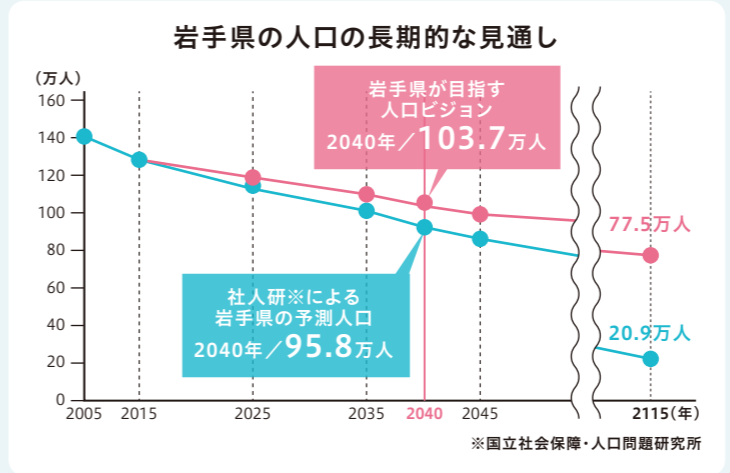
施策推進目標

岩手に来たい、関わりたい、つながりたいという思いに応え、多様な形で、いつでも、どこでも、誰もが岩手とつながることのできる社会を目指します。

数値目標

- 関係人口及び交流人口に関連する指標の向上：現状値を上回る要素指標※数5/5(R6)

※要素指標：観光入込客数、グリーン・ツーリズム交流人口、ふるさといわて応援寄付件数、ホームページ閲覧数、SNSフォロワー数



みんなが生きがいをもって豊かに暮らす岩手へ

第2期岩手県ふるさと振興総合戦略がはじまります

人口減に歯止めをかけ新しい人の流れを創出しよう



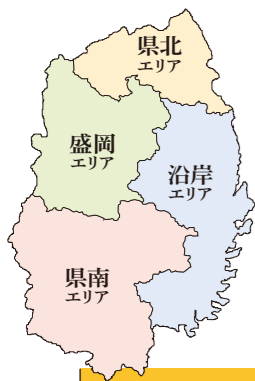
岩手県の人口は、1997年から減少を続けています。2019年は約123万人となり、ピークだった1985年と比較すると14%減少。国立社会保障・人口問題研究所の予測によると、2115年には約21万人まで落ち込むとされています。

人口減少の主な理由は、出生数の減少や、県外への転出の増加が挙げられます。これらの背景には、出産・子育てに要する出費の増加や、仕事と子育ての両立が困難であること、また、雇用情勢の悪化や首都圏との経済格差などがあると考えられます。

人口減少に歯止めをかけていくためには、こうした「生きにくさ」を「生きやすさ」に転換し、県民が暮らしやすく、さらに新たな人の流れを生み出す「ふるさと振興」を進めていくことが重要です。

一方で、全国的な東京一極集中の流れはむしろ加速しており、取り組みをより強化していくことが必要です。そこで、これまでの成果と課題などを踏まえた「第2期岩手県ふるさと振興総合戦略」を3月に策定。これまでの3本の柱である「岩手で働く」「岩手で育てる」「岩手で暮らす」に、新たに4本目の柱として「岩手とつながる」を加え、関係人口や交流人口の創出・拡大に向けた施策を展開していきます。県は、こうした取り組みを推進することで2040年に100万人の人口を確保することを目指します。

人口減少は国や県、市町村だけではなく、県民の皆さんの未来のこと。自分の身近な課題として、一緒に考え、取り組んでいきましょう。



各広域振興局の担当区域

盛岡広域振興局	盛岡市/八幡平市/滝沢市/雫石町/葛巻町/岩手町/紫波町/矢巾町 (3市5町)
県南広域振興局	花巻市/北上市/遠野市/一関市/奥州市/西和賀町/金ヶ崎町/平泉町 (5市3町)
沿岸広域振興局	宮古市/大船渡市/陸前高田市/釜石市/住田町/大槌町/山田町/岩泉町/田野畑村 (4市4町1村)
県北広域振興局	久慈市/洋野町/野田村/普代村/二戸市/軽米町/九戸村/一戸町 (2市3町3村)

4 広域振興局からのお知らせ

広域振興局とは、地域振興、産業振興、保健福祉など、広域的な課題に取り組む岩手県庁の総合出先機関です。県内にはエリア(広域振興圏)ごとに、「盛岡広域振興局」「県南広域振興局」「沿岸広域振興局」「県北広域振興局」の4つの広域振興局が設置されています。この4つの広域振興局から折々のお知らせをお届けします。

二戸地域のブランド果物はこれからが旬！
見た目も味も逸品ぞろい。
動画とともに旬の果実を味わって！

県北
エリア



二戸地域は、雨が少なく一日の寒暖差が大きいことから、さくらんぼ、ブルーベリー、りんごなど、季節を通じておいしく高品質な果物が実るフルーツの里です。

県では、生産者組織や地域と一体となって、地域産ブランド果物のPRや、園地での収穫体験などにより、フルーツの里二戸地域に来てもらう取り組みを進めています。

その一環として、二戸地域と果物の紹介動画「北いわてフルーツの里カシオペア連邦」を作成しました。PRソング「ふるふるフルーツ♪」(作詞作曲/アンダーパス!)に合わせて、栽培の様子や地域の風景、生産者や地域の方々の笑顔とおいしい果物を紹介していますので、ぜひご覧ください。

二戸地域の果物はこれからが旬！7月上旬頃には、さくらんぼ「佐藤錦」の中から、大粒で色が濃く、糖度の高いものを厳選した「夏恋(かれん)」が店頭



「夏恋」は二戸地域が主な産地

に並びます。ほかにも、夏にはブルーベリー「カシオペアブルー」、秋には赤いりんご「カシオペア・クイーンサンふじ」、冬には黄色いりんご「冬恋(ふゆこい)」など厳選されたトップレベルのブランド果物があり、贈答用にもおすすめです。ぜひご賞味ください。



いわてブランド果物きょうだい さくらちゃん・ブルーくん・冬恋ちゃん・ふじのちゃん (YouTubeでご覧ください)



北いわてフルーツの里カシオペア連邦 (YouTube) <https://www.youtube.com/watch?v=1PmYn1cARxM>



県北広域振興局 QRコード

釜石の新名物「うにしゃぶ」
試作品が完成。
今後は、市内飲食店での提供や
ふるさと納税の返礼品を目指す！

沿岸
エリア



釜石の新名物として、新たなメニュー「うにしゃぶ」の試作品が完成し、具体的な提供方法について検討が始まっています。

「うにしゃぶ」とは、貝でとった出汁にウニを加え、クリームで味を調えたスープに、三陸の新鮮な白身魚や野菜をくぐらせて食べる洋風鍋料理。釜石の観光まちづくり会社「かまいしDMC」と地元の食品加工会社が共同で開発し、3月末に市内の飲食店関係者などを招いた試食会が行われました。



クリーミーなスープはそのままでもじゅうぶんおいしく、魚や野菜のうまみでさらに深い味わい。「濃厚ながら味の麺まで飽きずに食べられる」「ウニが苦手な人でもこれなら大丈夫」と試食会では好評でした。

観光客の少ない冬場に料理で地域を盛り上げようと開発されたのが、この「うにしゃぶ」。

今後は、共通のスープを釜石市内の飲食店に提供し、それぞれの店がアレンジして観光客に楽しんでもらうことや、魚介などの具材とセットにし、ふるさと納税の返礼品にすることなどが検討されています。

「意外と何にでも合うので使いやすいと思いますよ」という飲食店経営者のお墨付きももらった「うにしゃぶ」のスープ。市内の飲食店で味わえる日が来るのが楽しみです。



沿岸広域振興局 QRコード

6月29日は「平泉世界遺産の日」。
来年は世界遺産登録10周年を迎え、
新たなガイダンス施設も
オープン予定！

県南
エリア



古都・平泉。平安時代後期に奥州藤原氏は、平和への願いを込め、浄土思想に基づく仏国土(浄土)の実現を目指しました。

その平泉の文化遺産が世界遺産に登録されたのは、2011年6月29日。平泉の文化遺産をみんなで未来に継承するとともに、遺産を活用した地域振興を行うため、県は「平泉世界遺産の日条例」を制定し、6月29日を「平泉世界遺産の日」と決めました。

この世界遺産を県内外にアピールするため、県南広域振興局の若手職員が「チームケロ平(けろひら)」を結成してPR活動を行ってきました。「ケロ平」は、約800年の時を超えて柳之御所遺跡から発



©2013岩手県 ケロ平

見された板画「平泉のカエル戯画」をモチーフにしたキャラクター。平安時代のカエルが表情豊かに平泉の魅力伝えていきます。

ほかにも知事や職員が学校に出向いて行う「世界遺産出前授業」、SNSやイベントなどを通じた情報発信などを行っています。

今年新たな取り組みとして『ドラゴン桜』でおなじみの漫画家、北上市出身の三田紀房さんによるポスターも制作中です。



2021年は、世界遺産登録10周年を迎える記念すべき年。平泉の文化遺産を総合的に知ることができ、ガイダンス施設のオープンなども予定され、世界遺産の価値の理解を深める絶好の機会となりそうです。



県南広域振興局 QRコード

もうすぐ完成 築川ダム。
ドローンで撮影した
工事現場の写真を
県ホームページで公開中！

盛岡
エリア



築川(やながわ)ダムは、北上川水系築川の盛岡市川目地区に建設を進めている10番目の県営ダムです。洪水調節、河川環境の保全、水道用水の確保、水力発電を行う多目的ダムです。



築川ダム			
型式	重力式コンクリートダム	長さ	242.7メートル(開運橋の約3倍)
高さ	77.2メートル(県庁の高さの約1.3倍)	総貯水容量	1,910万立方メートル(県営ダム1位! 県庁約230杯分)

2014年12月に始まった築川ダム本体の工事は、2021年3月の完成を目指して、現在最終段階。ダムの最高水位まで水を溜めてから流下させ、安全性を確認する試験を今年の秋から行います。ダム最上部にある非常用の放水口から水が流れ出る様子は、とても珍しい光景となるでしょう。

現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、工事現場の見学会や建設事務所内の広報コーナーは休止中。見学の再開は県ホームページでご案内します。なお、県ホームページでは、2015年度から最新の状況までドローンで撮影したダム工事現場の写真を公開中。着々と進む工事の様子をぜひご覧ください。

■問い合わせ/築川ダム建設事務所 019-652-8821

岩手県 やながわダム



盛岡広域振興局 QRコード

スマート農業の実現に向けて

今回のテーマは…
仕事・収入

みんなで目指す岩手の将来像のための「いわて県民計画(2019~2028)」。10の政策分野から、今回は「仕事・収入」をピックアップ! 新しい取り組み「スマート農業」を紹介します。

最新技術を活用する新しい農業のかたち

岩手の農業は、高齢化や担い手の減少によって、人手不足が深刻化しています。その対策として県が取り組み始めたのが「スマート農業」です。

ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化、精密化、栽培ノウハウのデータ化を図りながら、高品質生産の実現を目指すスマート農業は、農作業の負担を軽くするとともに、栽培技術を継承しやすくし、新規就農者の確保にも期待されています。



スマート農業とは?

県が目指すスマート農業の方向性

- 1 トラクターなど農業機械の自動走行による超省力・大規模生産を実現
- 2 センシング技術など精密農業で作物の能力を最大限に発揮し、多収・高品質生産を実現
- 3 アシストスーツによる軽労化、除草作業の自動化により、きつい作業、危険な作業からの解放
- 4 農機の運転アシスト装置、栽培ノウハウのデータ化などにより、誰もが取り組みやすい農業を実現
- 5 クラウドシステムによる生産情報の提供などにより、消費者・実需者に安心と信頼を提供

県内のスマート農業技術の取り組み

2019年度は「いわてスマート農業祭トリニティ」やシンポジウムの開催、SNSを使った情報発信を通じて、スマート農業への理解浸透を促す試みを行いました。

県農業研究センターの実証研究では、ドローンを使った水稲生育画像診断や農薬散布、害鳥の追い払い実験などを行いました。また、県立農業大学校ではスマート農業をカリキュラムに取り入れ、外部講師を招いた最新技術の学習を実施。自動操舵のトラクターや田植え機、環境制御温室など、実践的な学習環境を整備しています。

県内各地でのスマート農業技術の導入事例は別表をご覧ください。

●用語解説
【生産管理情報システム】電子地図の利用。スマートフォンやタブレットで作業指示を共有し、生産管理を合理化。【機械作業の自動化】農機走行の高精度化や一部自動化。ドローンによる農薬散布やロボットによる畦畔除草。【環境制御】温湿度制御と炭酸ガス濃度制御を組み合わせ、施設野菜の光合成能力を十分発揮させ増収させる技術。【飼養管理の省力化】牛の発情や分娩の予兆を機械で捉えることで、管理労力を軽減。



別表 県内でのスマート農業技術の導入事例

分野	内容	効果	県内の導入事例
GPS活用農機による精密農業	GPS情報を利用するトラクターや田植え機、コンバインなどの利用	耕耘(こううん)、施肥、収穫などの精度向上。自動操舵による軽労化	盛川農場(花巻市)、金田一営農組合(二戸市)、西部開発農産(北上市) など
施設園芸環境制御	施設内環境等のデータ収集や自動環境制御	生産性向上と労力軽減	佐々木農園(花巻市)、若江農園(盛岡市) など
水田センサーの利用	水位や水温、気温等のリアルタイム把握	水田の見回りに必要な時間の削減	リアル(花巻市)、金田一営農組合(二戸市) など
畜産経営における作業の軽労化	発情や分娩の兆候のメール通知システム	監視作業の軽労化と分娩事故の低減	発情監視システム、分娩管理システム(県内各地)

復興のバトン

未来へつなげ!

第1回 キッズ防災マイスター

米沢多恵さん(陸前高田市)



「防災のことを周りの人や友だちに伝えていきたい」という多恵さんと、薄れることのない津波の記憶を自ら語り部、として伝えている父の祐一さん。(被災した米沢商会ビルにて)

さまざまな災害に備えて伝えていきたい! 命を救う防災の大切さ

陸前高田市では、東日本大震災津波による被害を教訓に、2018年度から、防災に関する知識や技術を持つ地域の防災リーダー「陸前高田市防災マイスター」の養成講座を実施しています。その講座に参加し、2019年度「キッズ防災マイスター」として認定されたのが、米沢小学校4年の米沢多恵さん(9)です。

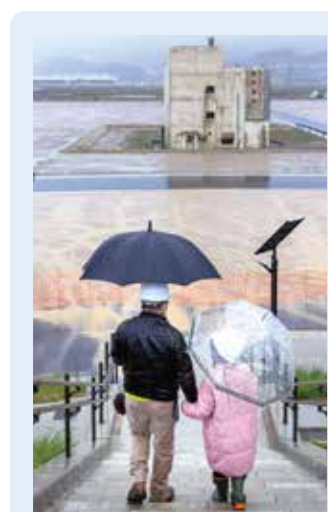
父の祐一さんが講座を受講する際、連れられて行ったのをきっかけに、防災に強く興味を持つようになった多恵さんは、翌年度、自ら受講を希望。難しい講習に一生懸命向き合い、認定書とバッジを手にしました。



米沢商会新店舗にて、認定バッジと認定書を見せてくれた多恵さん

「災害が起きた時に役立つし、いざというときに命を守るから、みんなにも防災を知ってほしい」と多恵さん。今は防災介助士や防災士の勉強に取り組む、さらに防災への知識を高めています。

自身も被災経験者であり、2018年度に防災マイスターになった祐一さんは、「未来はこの子たちの世代のもの。防災に対して高い意識を持ち続けて欲しい」と、娘の姿を優しく見守ります。



津波に直撃されながらも奇跡的に残った、鉄筋3階建ての米沢商会のビル。このビルのでっぺんに逃げ九死に一生を得た祐一さんは、「思い出も詰まっている。津波の恐ろしさを伝えるためにも残していきたい」と自費で建物を保存・管理しています。

「より良い復興~4本の柱~」

- I 安全の確保
 - ① 防災のまちづくり
 - ② 交通ネットワーク
- II 暮らしの再建
 - ① 生活・雇用
 - ② 保健・医療・福祉
 - ③ 教育・文化・スポーツ
 - ④ 地域コミュニティ
 - ⑤ 市町村行政機能支援
- III なりわいの再生
 - ① 水産業 農林業
 - ② 商工業
 - ③ 観光
- IV 未来のための伝承・発信
 - ① 事実・教訓の伝承
 - ② 復興情報発信



- 参画: 男女共同参画や若者、女性・高齢者、障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など、幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手
- 社会基盤: 防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手
- 自然環境: 一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、自然の豊かさとともに暮らしやすくなる岩手
- 歴史・文化: 豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手
- 仕事・収入: 農林水産業やものづくり産業などの活力ある雇用のもとで、安定した雇用が確保され、また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手
- 安全: 災害をはじめとしたさまざまなリスクへの備えがあり、事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実現することができる岩手
- 居住環境・コミュニティ: 不便を感じないで日常生活を送ることができ、また人や地域の結び付きの中で、助け合って暮らしやすくなる岩手
- 教育: 学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手
- 家族・子育て: 家族の形に合ったつながりや支え合いが育まれ、また、安心して子育てをすることができると岩手
- 健康・余暇: 健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手

昨年スタートした「いわて県民計画(2019~2028)」のテーマは「幸福」。一人ひとりがお互いに支え合いながら、幸福を追求していくことができる地域社会を実現していくため、10の政策分野を設定し、取り組みを展開していきます。

いわて県民計画
(2019~2028)とは

新型コロナウイルス感染症関係

買うなら岩手のもの運動

～買って、食べて地域を元気に応援キャンペーン～実施中!

県サイト内ページ番号検索 **1027747**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、県内でもイベントが中止されたり、観光客が急激に減ったりするなど、経済や生活の分野に大きな影響が出ています。

そこで、県では、県民の皆さまに県産品を買ったり、食べたりしていただくことを通じて、地元生産者や事業者を応援し、地域全体を元気にしていくためのキャンペーンを展開しています。

県内を中心に、小売・卸売業、外食業、製造業など多くの事業者の皆さまにご賛同いただき、さまざまな県産品を販売中です。協力店などキャンペーンの情報は県ホームページでお知らせしています。

「岩手のもの」を買って、食べて岩手を元気にしていきましょう。



お問い合わせ 県庁産業経済交流課 / 019-629-5537

一時的な生活資金に係る貸付のご案内

県サイト内ページ番号検索 **1029578**

岩手県社会福祉協議会では、休業などにより緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった方への貸付(緊急小口資金)を行っています。

【貸付上限額】一世帯につき10万円以内(特に必要と認められる場合は20万円以内)

【貸付利子・保証人】無利子・不要

【相談・申込の窓口】お住まいの市町村社会福祉協議会
この他、一定期間貸付を行うもの(総合支援資金)もありますので、まずはお電話でご相談ください。

お問い合わせ 県庁地域福祉課 / 019-629-5425
岩手県社会福祉協議会 / 019-637-4496

お気をつけください

暗証番号をたずねる不審電話が多発

警察官や金融機関の職員といつわって、キャッシュカードの暗証番号や個人情報を聞き出そうとする不審電話が発生しています。暗証番号は「金庫の鍵」です。鍵を手にした犯人グループは、さまざまな方法で口座のお金(金庫の中身)を盗んでしまいます。

- 暗証番号はあなただけのもの。
- 電話で警察官や金融機関の職員が暗証番号を聞くことは絶対にありません。
- 「暗証番号」の言葉が出たら詐欺を疑ってください。



相談先 最寄りの警察または警察安全相談「#9110」

「コロナ給付金」に便乗した詐欺に注意!

県サイト内ページ番号検索 **1029587**

特別定額給付金に関する手続きで、市町村や総務省などが
○ATMの操作をお願いすることはありません。
○手数料の振込みを求めることはありません。
具体的な給付方法が決まり次第、市町村や総務省などからお知らせします。制度に関する最新の情報は、総務省ホームページをご覧ください。

総務省 特別定額給付金 **検索**



相談先 最寄りの警察または警察安全相談「#9110」

※「コロナ給付金」に関する手続きについては、お住まいの市町村にご相談ください。

ご存知ですか

「虐待かも?」と思ったら189番へ

県サイト内ページ番号検索 **1003380**

虐待を受けたと思われる子どもを発見したら、市町村や児童相談所へ報告してください。

もしかして虐待かも?と思ったら、児童相談所全国共通ダイヤル「189(いちはやく)」へかけると、お住まいの地域の児童相談所につながります。匿名でも構いません。電話をかけた人・内容の秘密は守られます。あなたの1本の電話で救われる子がいます。みんなで子どもたちを児童虐待から守りましょう。

お問い合わせ 県庁子ども子育て支援室 / 019-629-5457

戦没者などの遺族に対する「第十一回特別弔慰金」のご案内

県サイト内ページ番号検索 **1028057**

戦後75周年に当たり、今日の我が国の平和と繁栄の礎となった戦没者などの尊い犠牲に思いをいたし、国として改めて弔慰の意を表すため、戦没者などのご遺族に特別弔慰金が支給されます。

【支給対象者】 戦没者などの死亡当時のご遺族で

- 1.2020年4月1日までに戦傷病者特別援護法による弔慰金の受給権を取得した方
- 2.戦没者などの子
- 3.戦没者などの①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹
※戦没者などの死亡当時、生計関係を有していることなどの要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。
- 4.上記1から3以外の戦没者などの三親等内の親族(甥、姪等)※戦没者などの死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

【支給内容】 額面25万円、5年償還の記名国債

【請求期間】 2023年3月31日まで

【請求窓口】 お住いの市町村の援護担当課

お問い合わせ 県庁地域福祉課 / 019-629-5481

県税の徴収猶予制度のご案内

県サイト内ページ番号検索 **1028213**

新型コロナウイルス感染症の影響で納税が困難な方に対して、県税の「徴収猶予制度」があります。納税者(家族を含む)が新型コロナウイルス感染症にかかったり、納税者の営む事業が利益の減少などで著しい損失を受け、納税が困難になったりした場合などは、お早めに近くの広域振興局(県税部・県税センター・県税室)にご相談ください。

お問い合わせ 県庁税務課 / 019-629-5208

いわてわんこ節電所 プレゼントキャンペーン(2020年春)実施中

県サイト内ページ番号検索 **1016595**

地球温暖化対策のための県のホームページ「いわてわんこ節電所」では、日頃の節電行動について振り返る「家庭のエコチェック」を通じ、地球にやさしいライフスタイルへの転換を呼びかけています。6月30日まで、「家庭のエコチェック」参加者を対象に、抽選で「いわてのいいもの」が当たるプレゼントキャンペーンを実施。ぜひご参加ください!そのほか、地球温暖化対策については「いわてわんこ節電所」をご覧ください。



お問い合わせ 県庁環境生活企画室 / 019-629-5271

地震に強い住まいづくりを支援します

県サイト内ページ番号検索 **1010327**

1981年以前に建てられた木造住宅は、地震に弱い可能性があります。県と市町村は耐震診断の支援や、診断の結果、耐震性が不足している場合の相談員派遣、耐震改修工事の支援を行っています。これまでの地震を耐えたから今後も大丈夫と過信せず、大切な家族の命と財産を守るため、事業を活用して地震に強い住まいづくりに取り組みましょう。

■耐震診断費用/自己負担約3,000円(市町村により異なります)

お問い合わせ お住まいの市町村または県庁建築住宅課 / 019-629-5935

広聴広報ガイド | ご意見・ご提言はこちら

[受付時間]8:30~17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

手紙・はがき 〒020-8570(住所不要) 岩手県広聴広報課

電子メール koucho@pref.iwate.jp

電話 019-629-5110

F A X 019-651-4865(24時間受付)

県政テレビ番組 「いわて!わんこ広報室」毎週 放送中!

- テレビ岩手 月曜日 18:54~19:00 (再放送)土曜日 21:54~22:00
- 岩手めんこいテレビ 水曜日 21:54~22:00
- 岩手朝日テレビ 水曜日 23:10~23:15
- IBC岩手放送 木曜日 18:55~19:00

※都合により放送時間が変更になることがあります。

岩手県 **検索**

「岩手県ホームページ」はこちら



そばっちゃんが、いわてのことを つぶやくよ!みんなで拡散してね!

県政情報、防災情報、岩手の魅力情報を発信しています。

岩手県広聴広報課
ツイッター・
フェイスブックは
こちら



復興へ向けて歩み続ける
岩手県の今を紹介します。

「いわて復興だより」はこちら



震災からの歩み(主なもの) 2020年3月~

- 3月1日 三陸沿岸道路の久慈北IC~侍浜(さむらいはま)IC間が開通
- 11日 東日本大震災津波 岩手県・釜石市合同追悼式を実施
- 20日 釜石~陸中山田間の復旧工事が終了し、三陸鉄道が全線再開
- 22日 オリピックの聖火が宮古市に到着。支援に対する感謝の気持ちと復興への誓いを込めてこの聖火を「復興の火」として、県内8箇所で開催
- 23日

[被害状況]2020年3月31日現在

- 死者5,143人(震災関連死469人を含む)
- 行方不明者1,112人(うち死亡届の受理件数1,103件)

放射線影響対策のお知らせ【No.36】

生活空間の放射線量

県では、2011年6月から県内の公園や庁舎など55地点の放射線量(空間線量率)を定期的に測定しています。測定値は、2013年6月以降、全ての地点で国の除染基準(毎時0.23マイクロシーベルト)を下回り、低値で安定しています。汚染状況重点調査地域に指定されている一関市、奥州市、平泉町でも、低減傾向から横ばい傾向に移行しています。



お問い合わせ 生活空間の放射線量/県庁環境保全課 019-629-5356
全般/県庁環境生活企画室 019-629-6815

わんこきょうだい
オリジナルグッズが
当たる!

クロスわんこ



カギの答えを埋めて、
A～Cに入る言葉を
完成させてね。

●たてのカギ

- ①賃料を取って人に貸す家や部屋。
- ②大豆より若く、まだ青々としているものを収穫。ビールにぴったりの夏野菜。
- ③池などにいる、観賞用に飼養される淡水魚。
- ④新型コロナウイルス感染症予防対策として有効なのは「在宅」と「○○○○」(⇒詳しくはP2)
- ⑤顔料・染料を含んだ液体。紙に文字を書くときに使う。
- ⑦線や色彩で、物の形・姿を平面上に描き出したもの。
- ⑪8本の腕がある軟体動物。

●よこのカギ

- ①世界遺産平泉を県内外にPRする活動を行っているキャラクター「ケロ平」は何の動物?(⇒詳しくはP9)
- ③動かないようにすること。
- ⑥胞子によって増える植物。○○植物。
- ⑦英語で「鉄」の意味。
- ⑧山と山の間。山間部。
- ⑨たやすいこと、簡単なこと。
- ⑩液体、気体と違い、定まった形と体積をもつもの。
- ⑫地球温暖化対策のための岩手県のホームページの名称は「いわて○○○節電所」(⇒詳しくはP13)

こたえ

プレゼント!



カギの答えを埋めて、A～Cに入る言葉を完成させてね。クロスわんこに正解した皆さまの中から抽選で合計6名様にそばちの「ぬいぐるみストラップ」をプレゼント!

住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号・クロスわんこの解答をお書きの上、はがき、FAX、電子メールからご応募ください。

送り先

はがき 〒020-0025
岩手県盛岡市大沢川原3-3-8 正和ビル2階
株式会社 オリムピア企画内
「いわてグラフ6月号・クロスわんこ」係

FAX 019-629-9170

電子メール crosswanko@olympia-kikaku.co.jp

右のQRコードを読み取って簡単にアドレスを取得できます。



応募
締切

2020年7月17日(金)
当日消印有効

【当選発表】商品の発送(8月上旬ごろ)をもって代えさせていただきます。



アンケート&プレゼント

アンケートにお答えいただいた皆さまの中から抽選で合計7名様に県産品をプレゼント!

アンケートにお答えください

【1】記事は分かりやすかったですか?

【番号で回答】

- ①非常に分かりやすい ④分かりにくい
②分かりやすい ⑤非常に分かりにくい
③普通

※④または⑤のかたは、どのような点が分かりにくかったかお書きください。

【3】身の回りで知りたい分野は何ですか?

【番号で回答・複数回答可】

- ①産業 ④教育・文化 ⑦その他
②医療・福祉 ⑤環境
③防災 ⑥社会資本整備

※⑦その他のかたは、関心のあるものをお書きください。

【2】今回の企画で興味を持ったものは何ですか?

【4】本誌へのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

申込方法 住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号・ご希望のプレゼントのアルファベット記号(AまたはB)をお書きの上、はがき、FAX、電子メール、または右のQRコードを読み込んで、応募フォームからご応募ください。

送り先

✉ 手紙・はがき

✉ 電子メール

✉ FAX

〒020-8570(住所不要) 岩手県広聴広報課
「いわてグラフ6月号・読者アンケート」係

kouhou@pref.iwate.jp

019-651-4865(24時間受付)



応募締切 2020年7月17日(金)当日消印有効

当選発表 商品の発送(8月上旬ごろ)をもって代えさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報やアンケートの内容につきましては、厳正な管理の下で取り扱い、アンケート集計、プレゼントの発送にのみ利用させていただきます。

いわてグラフは岩手県が制作する広報誌です。518,500部作成し、県内全世帯に配布しています。1部あたりの単価は約24円です。

A 鯖しいたけ煮付缶詰 ×2個(宮古市)

3名様

脂が乗った三陸産の鯖と山田町産の肉厚しいたけを醤油ベースの出汁で煮付けに。旨みがぎゅっと詰まっています。

【問】丸友しまか
0193-62-1332



B 外川目産梅使用 うめっこジュース(花巻市)

4名様

花巻市大迫町外川目地区で栽培している南高梅と露茜のジュース。きゅんと酸っぱい飲み比べセットです。

【問】外川目梅の里協議会事務局
090-4634-0621



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。